

ISOPE-2019 での海外発表



清水 万真*

ISOPE-2019 Honolulu, Hawaii, USA

Key Words : Brittle fracture, Large scale yielding, Mixed mode, Local approach, Elastic-plastic fracture mechanics

<参加会議名>

The Twenty-ninth (2019) International Ocean and Polar Engineering Conference

<開催場所> アメリカ・ハワイ・ホノルル

<渡航期間> 2019年6月16日～2019年6月23日

<発表タイトル>

Local Approach for Elastic-Plastic Fracture Assessment of Cracked Component under Mixed Mode Loading

私は、2019年6月16日～21日にハワイ・ホノルルで開催された国際会議 ISOPE-2019 (The Twenty-ninth (2019) International Ocean and Polar Engineering Conference) に参加しました。毎年開催地を変えながら行われる本会議では、海洋構造物やパイプラインの安全性保障や溶接技術についての研究発表が多く行われています。

私は、「複雑負荷をうける亀裂材の脆性破壊抵抗予測のためのローカルアプローチ」という題目で、鉄鋼部材の脆性破壊現象を対象とした研究内容で口頭発表を行いました。この分野の研究は、特に海外で盛んに研究がされていることもあり、多くの研究者と議論を交わすことができました。様々なセッションにも参加し、パイプラインや海洋構造物の欠陥などといった私の研究内容と対象に近い発表を聴講

することで、多くの貴重な知見を得ることができました。また、レセプションやバンケットでは会議で同席した国内外の研究者と交流する機会もあり、発表以外にも非常に有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、本会議への参加にあたり、経済的ご支援を賜りました生産技術振興協会に厚く御礼申し上げます。

発表の様子



会場前での記念撮影

バンケットの様子



* Kazuma SHIMIZU

大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻卒業 (2016年)
現在、大阪大学 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 生産科学コース 構造化評価学領域 博士後期過程3年 修士(工学)
研究分野/破壊力学・材料強度学



会場近くの
カハナモク・ビーチ
の早朝